

Atty. Dkt. No.
32739M058

#2
PATENT

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

Applicant : Wataru SASAKI et al.

US Serial No. : New

Group Art Unit: To Be Assigned

Filed : August 27, 2001

Examiner: To Be Assigned

For : PUSH TYPE SCANNER APPARATUS AND IMAGE DATA
TRANSMITTING AND RECEIVING SYSTEM

CLAIM FOR FOREIGN PRIORITY

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231




Sir:

Under the provisions of Section 119 of 35 U.S.C., Applicants hereby claim the benefit of Japanese application No. 2000-257774 filed in Japan on August 28, 2000, relating to the above-identified United States patent application.

In support of Applicants' claim for priority, a certified copy of said Japanese application is attached hereto.

Respectfully submitted,
SMITH, GAMBRELL & RUSSELL, LLP

By: 
Michael A. Makuch, Reg. No. 32,263
1850 M Street, N.W., Suite 800
Washington, D.C. 20036
Telephone: (202) 659-2811
Facsimile: (202) 263-4329

August 27, 2001

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出 願 年 月 日

Date of Application: 2000年 8月28日

出 願 番 号

Application Number: 特願2000-257774

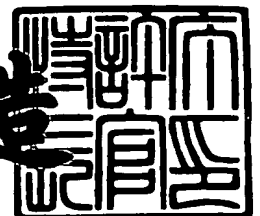
出 願 人

Applicant(s): 京セラミタ株式会社

2001年 5月25日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3044268

【書類名】 特許願

【整理番号】 01-00196

【提出日】 平成12年 8月28日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 H04N 1/04

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号 京セラミタ株式会社内

【氏名】 佐佐木 渡

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号 京セラミタ株式会社内

【氏名】 野田 辰夫

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号 京セラミタ株式会社内

【氏名】 永山 時宗

【発明者】

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号 京セラミタ株式会社内

【氏名】 堀 清志

【特許出願人】

【識別番号】 000006150

【住所又は居所】 大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

【氏名又は名称】 京セラミタ株式会社

【代理人】

【識別番号】 100087701

【弁理士】

【氏名又は名称】 稲岡 耕作

【選任した代理人】

【識別番号】 100075155

【弁理士】

【氏名又は名称】 亀井 弘勝

【選任した代理人】

【識別番号】 100101328

【弁理士】

【氏名又は名称】 川崎 実夫

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 011028

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 0003152

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書
【発明の名称】 プッシュ型スキャナ装置およびその使用方法
【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ネットワークを介して画像データを送信可能なプッシュ型スキャナ装置であって、

セットされた原稿を読取り、原稿に記載されている画像を画像データとして出力する原稿読取手段と、

この装置をネットワークと接続するためのネットワーク接続用インターフェースと、

ネットワークを介して送信するときの送信先を特定するためのアドレスを指定するアドレス指定手段と、

アドレス指定手段によりアドレスが指定されたことに応答して、そのアドレスへ送信するメールを作成するメール作成手段と、

アドレス指定手段によるアドレス指定に関連づけて、前記原稿読取手段によって原稿が読取られると、読取られた原稿の画像データを前記メール作成手段が作成するメールの添付ファイルとして作成する添付ファイル作成手段と、

前記作成されたメールおよびその添付ファイルを、ネットワーク接続用インターフェースからネットワークへ出力する送信実行手段と、
を含むことを特徴とするプッシュ型スキャナ装置。

【請求項 2】

前記アドレス指定手段は、アドレスメモリに予めストアされている複数のアドレスから所望のアドレスを選択することによりアドレスを指定することを特徴とする、請求項 1 記載のプッシュ型スキャナ装置。

【請求項 3】

前記アドレス指定手段は、入力キーにより指定すべきアドレスを入力する手段を含むことを特徴とする、請求項 1 記載のプッシュ型スキャナ装置。

【請求項 4】

前記添付ファイル作成手段は、アドレス指定手段によりアドレスが指定された

後、前記原稿読取手段によって読取られた原稿の画像データを前記添付ファイルとして作成することを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のプッシュ型スキャナ装置。

【請求項 5】

ネットワークを介して画像データを送信可能なプッシュ型スキャナ装置であって、

セットされた原稿を読取り、原稿に記載されている画像を画像データとして出力する原稿読取手段と、

この装置をネットワークと接続するためのネットワーク接続用インターフェースと、

ネットワークに接続された特定のパソコンを指定するためのパソコン特定手段と、

前記パソコン特定手段でパソコンが特定されたことに関連づけて、前記原稿読取手段によって原稿が読取られると、読取られた原稿の画像データを前記パソコンへ送信する送信実行手段と、

を含むことを特徴とする、プッシュ型スキャナ装置。

【請求項 6】

ネットワークを介して画像データを送信可能なプッシュ型スキャナ装置であって、

セットされた原稿を読取り、原稿に記載されている画像を画像データとして出力する原稿読取手段と、

この装置をネットワークと接続するためのネットワーク接続用インターフェースと、

E メールアドレスまたはパソコンを指定するための送信先指定手段と、

送信先指定手段により E メールアドレスが指定されたことに応答して、前記原稿読取手段によって読取られた原稿の画像データをメールの添付ファイルとして作成し、メールおよびその添付ファイルを、ネットワーク接続用インターフェースからネットワークへ出力する第 1 の送信実行手段と、

前記送信先指定手段でパソコンが指定されたことに応答して、前記原稿読取手

段によって読取られた原稿の画像データを指定されたパソコンへ送信する第2の送信実行手段と、

を含むことを特徴とするプッシュ型スキャナ装置。

【請求項7】

セットされた原稿を読取り、原稿に記載されている画像を画像データとして出力できる原稿読取装置をネットワークに接続し、

原稿読取装置に画像データを送信する送信先を入力可能にし、

送信先を入力することにより、読取った原稿の画像データをネットワークを介して送信先へ出力することを特徴とする、原稿読取装置の使用方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は原稿読取装置に関し、特に、デジタル複写機等の高速で原稿を読取り可能な原稿読取装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

オフィスや会社においては、従来より、プリンタや複写機をLAN (Local Area Network) によって複数台のパソコン等に接続することが公知である。かかる接続を採用すると、各パソコンで作成した文書や画像データをプリントアウトする場合には、パソコンからLANを介してプリンタや複写機にデータを送信し、データを受け取ったプリンタや複写機が受け取ったデータを用紙に印刷して出力する。

【0003】

また、LANにスキャナ装置が接続されていることもあるが、スキャナ装置も、プリンタや複写機と同様、パソコンからの指令に基づいて動作し、パソコンからの指令に基づいて、読取った原稿データを指令を受けたパソコンへ出力する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

ネットワークに接続され、複数台のパソコン等へ画像データを送信可能なスキ

ャナ装置の場合、パソコンからの指令によってのみ動作する従来システムでは、その使い勝手が良くないという課題があった。なぜなら、ユーザがスキャナ装置を使用する場合は、スキャナ装置に読取るべき原稿をセットした後、ユーザのパソコンを操作してスキャナ装置に動作指令を与えなければならず、また、スキャナ装置が原稿を読取った後は、セットした原稿を回収するために、スキャナ装置に足を運ぶ必要があり、その操作が煩雑である。

【 0 0 0 5 】

あるいは、スキャナ装置に予め原稿を読取らせ、その読取らせた原稿をスキャナ装置のメモリにストアさせた後、パソコンから、スキャナ装置にストアされている原稿データを読出すような操作をしなければならず、この場合も操作が煩雑である。

この発明はかかる課題を解消するためになされたもので、スキャナ装置自らが読取った原稿データをネットワークを介して送信することができる新規なプッシュ型のスキャナ装置を提供することである。

【 0 0 0 6 】

またこの発明は、操作性が改善されたスキャナ装置およびその使用方法を提供することである。

【 0 0 0 7 】

【課題を解決するための手段および発明の効果】

請求項 1 記載の発明は、ネットワークを介して画像データを送信可能なプッシュ型スキャナ装置であって、セットされた原稿を読取り、原稿に記載されている画像を画像データとして出力する原稿読取手段と、この装置をネットワークと接続するためのネットワーク接続用インターフェースと、ネットワークを介して送信するときの送信先を特定するためのアドレスを指定するアドレス指定手段と、アドレス指定手段によりアドレスが指定されたことに応答して、そのアドレスへ送信するメールを作成するメール作成手段と、アドレス指定手段によるアドレス指定に関連づけて、前記原稿読取手段によって原稿が読取られると、読取られた原稿の画像データを前記メール作成手段が作成するメールの添付ファイルとして作成する添付ファイル作成手段と、前記作成されたメールおよびその添付ファイ

ルを、ネットワーク接続用インターフェースからネットワークへ出力する送信実行手段と、を含むことを特徴とするプッシュ型スキャナ装置である。

【0008】

請求項2記載の発明は、前記アドレス指定手段は、アドレスメモリに予めストアされている複数のアドレスから所望のアドレスを選択することによりアドレスを指定することを特徴とする、請求項1記載のプッシュ型スキャナ装置である。

請求項3記載の発明は、前記アドレス指定手段は、入力キーにより指定すべきアドレスを入力する手段を含むことを特徴とする、請求項1記載のプッシュ型スキャナ装置である。

【0009】

請求項1の構成によれば、アドレス指定手段によりアドレスが指定されたことに応答して、そのアドレスへ送信するメールが自動的に作成される。また、アドレス指定に関連づけて原稿が読取られたときには、その読取られた原稿の画像データは、メールの添付ファイルとして作成される。そして作成されたメールおよびその添付ファイルは、指定されたアドレスへ送信される。

よって、ネットワークに接続された送信先のパソコンを操作することなく、スキャナ装置を操作することだけで、そのパソコンへ読取った画像データを添付ファイル形式で送ることができる。つまり、スキャナ装置の方から送り出すので、この明細書では「プッシュ型」と呼んでいる。

【0010】

この結果、操作性が良く、使い勝手の良いスキャナ装置を提供できる。

アドレス指定の仕方は、パソコンにおけるメールアドレス指定の仕方と同様、請求項2記載のように、アドレスメモリに予め複数のアドレスをストアしておき、その中の所望のアドレスを選択するやり方を採用できる。

また、請求項3記載のように、入力キーによりアドレスをその都度入力できるような構成でもよい。

【0011】

請求項4記載の発明は、前記添付ファイル作成手段は、アドレス指定手段によりアドレスが指定された後、前記原稿読取手段によって読取られた原稿の画像デ

ータを前記添付ファイルとして作成することを特徴とする、請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載のプッシュ型スキャナ装置である。

請求項 4 の構成では、アドレス指定と原稿読取りとの関連づけが、アドレス指定後に原稿読取りが行われた場合に特定されているので、送信すべきアドレスを指定し、原稿を読取らせるだけでよく、特別な関連づけ操作を必要とせずに、原稿を指定アドレスへ送信することができる。

【 0 0 1 2 】

なお、アドレス指定と、原稿読取りとの関連づけは、たとえば特別の操作キーを操作する、スキャナ装置を所定のモードに設定して行う等であってもよい。

請求項 5 記載の発明は、ネットワークを介して画像データを送信可能なプッシュ型スキャナ装置であって、セットされた原稿を読取り、原稿に記載されている画像を画像データとして出力する原稿読取手段と、この装置をネットワークと接続するためのネットワーク接続用インターフェースと、ネットワークに接続された特定のパソコンを指定するためのパソコン特定手段と、前記パソコン特定手段でパソコンが特定されたことに関連づけて、前記原稿読取手段によって原稿が読取られると、読取られた原稿の画像データを前記パソコンへ送信する送信実行手段と、を含むことを特徴とする、プッシュ型スキャナ装置である。

【 0 0 1 3 】

請求項 5 の構成では、請求項 1 のように画像データをメールの添付ファイル形式でなく、パソコンにダイレクトに送信することができる。この場合の送信も、スキャナ装置の操作だけでよく、パソコンからの操作は不要である。画像データを受信したパソコンは、その画像データを特定のファイル形式でストアすることになる。

以上のように、請求項 5 の構成でも、スキャナ装置を操作するだけで、スキャナ装置から特定のパソコンに対して画像データを送信でき、その操作性が良い。

【 0 0 1 4 】

特に、ユーザが、多数枚の原稿データを、自分のパソコンのメモリにストアしたい場合に、その原稿をこの発明のスキャナ装置にセットし、自分のパソコンを特定して、スキャナ装置に原稿を読取らせれば、読取られた原稿の画像データは

すべて自分のパソコンへ送られて、自分のパソコンのメモリにストアされる。

よって、非常に使い勝手の良いスキャナ装置とすることができる。

請求項6記載の発明は、ネットワークを介して画像データを送信可能なプッシュ型スキャナ装置であって、セットされた原稿を読取り、原稿に記載されている画像を画像データとして出力する原稿読取手段と、この装置をネットワークと接続するためのネットワーク接続用インターフェースと、Eメールアドレスまたはパソコンを指定するための送信先指定手段と、送信先指定手段によりEメールアドレスが指定されたことに応答して、前記原稿読取手段によって読取られた原稿の画像データをメールの添付ファイルとして作成し、メールおよびその添付ファイルを、ネットワーク接続用インターフェースからネットワークへ出力する第1の送信実行手段と、前記送信先指定手段でパソコンが指定されたことに応答して、前記原稿読取手段によって読取られた原稿の画像データを指定されたパソコンへ送信する第2の送信実行手段と、を含むことを特徴とするプッシュ型スキャナ装置である。

【0015】

請求項6のように、請求項1および5の機能を切換えて利用できる装置とすれば、さらに有用である。

請求項7記載の発明は、セットされた原稿を読取り、原稿に記載されている画像を画像データとして出力できる原稿読取装置をネットワークに接続し、原稿読取装置に画像データを送信する送信先を入力可能にし、送信先を入力することにより、読取った原稿の画像データをネットワークを介して送信先へ出力することを特徴とする、原稿読取装置の使用方法である。

【0016】

請求項7の方法により、原稿読取装置の効率の良い使用方法を提供できる。

【0017】

【発明の実施の形態】

以下には、図面を参照して、この発明の実施形態について具体的に説明をする。

図1は、この発明の一実施形態に係るプッシュ型スキャナ装置を含むネットワ

ーク接続構造を示す図解的な図である。

図 1 では、プッシュ型スキャナ装置として、カラーディジタル複写機 1 が使用されている。この複写機 1 は LAN に接続されている。LAN はたとえばオフィス内に配置された複数のパソコン 2 a, 2 b や文書管理サーバー 3 を相互に接続するネットワークである。

【 0 0 1 8 】

LAN には、さらに必要に応じてゲートウェイやファイアウォール 6 を介してインターネットが接続されていて、インターネットを介して外部のパソコン 4 a, 4 b や SMTP サーバー 5 (Simple Mail Transfer Protocol Server) が接続されている。

かかるネットワーク接続構成において、ディジタル複写機 1 は読取った原稿の画像データを所望のパソコン 2 a へ送信（配信）することができる（矢印①）。この送信（配信）は、ディジタル複写機 1 を操作するだけで行え、パソコン 2 a の操作は不要である。

【 0 0 1 9 】

また、ディジタル複写機 1 は、たとえばオフィスに備えられた文書管理サーバー 3 に対して、読取った原稿の画像データを転送できる（矢印②）。この転送処理も、文書管理サーバー 3 の操作は不要で、ディジタル複写機 1 を操作することのみにより行える。

文書管理サーバー 3 にストアされた画像データは、LAN に接続されている各パソコン 2 a, 2 b から閲覧、検索が可能である（矢印③）。

【 0 0 2 0 】

さらに、ディジタル複写機 1 は、読取った原稿画像を、LAN およびインターネットを介して SMTP サーバー 5 へ、メール形式で転送できる（矢印④）。この転送も、ディジタル複写機 1 の操作のみで行える。

ディジタル複写機 1 からのメールを受信した SMTP サーバー 5 は、メールにより指定されたアドレスに、そのメールおよびメールに添付された添付ファイルを配信する（矢印⑤）。

【 0 0 2 1 】

以上のように、デジタル複写機 1 を操作することにより、デジタル複写機 1 から各種の画像データをネットワークを経由して種々の装置へ出力できることが、この実施形態の特徴である。

図 2 は、図 1 に示すカラーデジタル複写機 1 の構成ブロック図である。この複写機 1 には、マイクロコンピュータ等で構成された制御部 11 が備えられており、制御部 11 によって原稿読取部 12 が制御される。また原稿読取部 12 で読取られた画像データをストアするための画像メモリ 13 が備えられており、この画像メモリ 13 は制御部 11 により制御されている。

【0022】

また、複写機 1 には、ユーザが種々の操作を行うための操作部 14 が備えられている。操作部 14 を操作することにより、アドレスを入力したり、アドレスを指定したり、パソコンを特定したりすることができる。操作部 14 の信号は制御部 11 へ与えられる。また操作データその他の内容を表示するための表示器 15 が備えられており、表示器 15 は制御部 11 で制御される。

制御部 11 にはさらにアドレスメモリ 16 が備えられており、アドレスメモリ 16 には複数のアドレスがストアされる。制御部 11 にはネットワークインターフェース 17 が接続されていて、このインターフェース 17 を介して LAN に接続されている。

【0023】

図 3 は、図 2 の制御部 11 の制御動作の一例を示すフローチャートである。

図 3 の流れに従って、デジタル複写機 11 の動作（制御動作）について説明をする。

制御では、まず、操作部 14 が操作され、送信形態として E メール送信が指定されたか、PC 送信が指定されたかが判別される（ステップ S1）。E メール送信が指定されたときには、アドレスの入力を待つ（ステップ S2）。

【0024】

次いで、原稿読取部 12 に原稿がセットされているか否かの判別がされ（ステップ S3）、原稿が未セットであれば、「原稿をセットして下さい。」といった原稿セットを促す旨の表示が表示器 15 に表示される（ステップ S4）。

そして原稿読取部 12 にセットされた原稿が読取られ（ステップ S5）、読取られた原稿の画像データは、作成されるメールの添付ファイルとされる（ステップ S6）。このとき作成されるメールは、たとえば「前略 添付の画像を送付申し上げます。草々」といった定型文のものでもよいし、任意の文章のメールでもよい。

【0025】

そして作成されたメールおよびその添付ファイルは、ステップ S1 で指定されたアドレスへ送信される（ステップ S7）。

ステップ S1 ～ S7 の制御動作は、すべて自動的に行われてもよいし、各動作の都度、ユーザが操作部 14 のボタン等で内容を確認する信号を入力するような構成であってもよい。

ステップ S1 で指定された送信形態が PC 送信であれば、制御部はパソコンが特定されたか否かの判別をする（ステップ S8）。そしてパソコンが特定された場合には、以下のようにして、その特定されたパソコンに対して画像データが送信（配信）される。

【0026】

パソコンが特定されると、原稿読取部 12 に原稿がセットされているか否かが判別され（ステップ S10）、セットされていなければ原稿をセットする旨が表示器 15 に表示される（ステップ S9）。

そしてセットされた原稿は、原稿読取部 12 で読取られ（ステップ S11）、読取られた画像データは、特定されたパソコンへ送信される（ステップ S12）。

【0027】

なお、アドレスが指定されず、パソコンが特定されない場合には、他の処理が実行され、あるいは他の処理に対して待機される。

この実施形態では、カラーディジタル複写機をスキャナ装置として利用したが、コピー機能のないスキャナ装置自体を使用してもよいし、高速読取りのできるファクシミリ装置等を使用することも、もちろん可能である。

また、このネットワークシステムに使用するディジタル複写機 1 は、上述のよ

うな原稿読取機能の他、複写機能を有するので、当然、複写機としても利用することが可能である。

【 0 0 2 8 】

この発明は、以上説明した実施形態に限定されるものではなく、特許請求の記載の範囲内において種々の変更が可能である。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明の一実施形態にかかるプッシュ型スキャナ装置にかかるプッシュ型スキャナ装置を含むネットワーク接続構造を示す図解的な図である。

【図 2】

カラーディジタル複写機の構成ブロック図である。

【図 3】

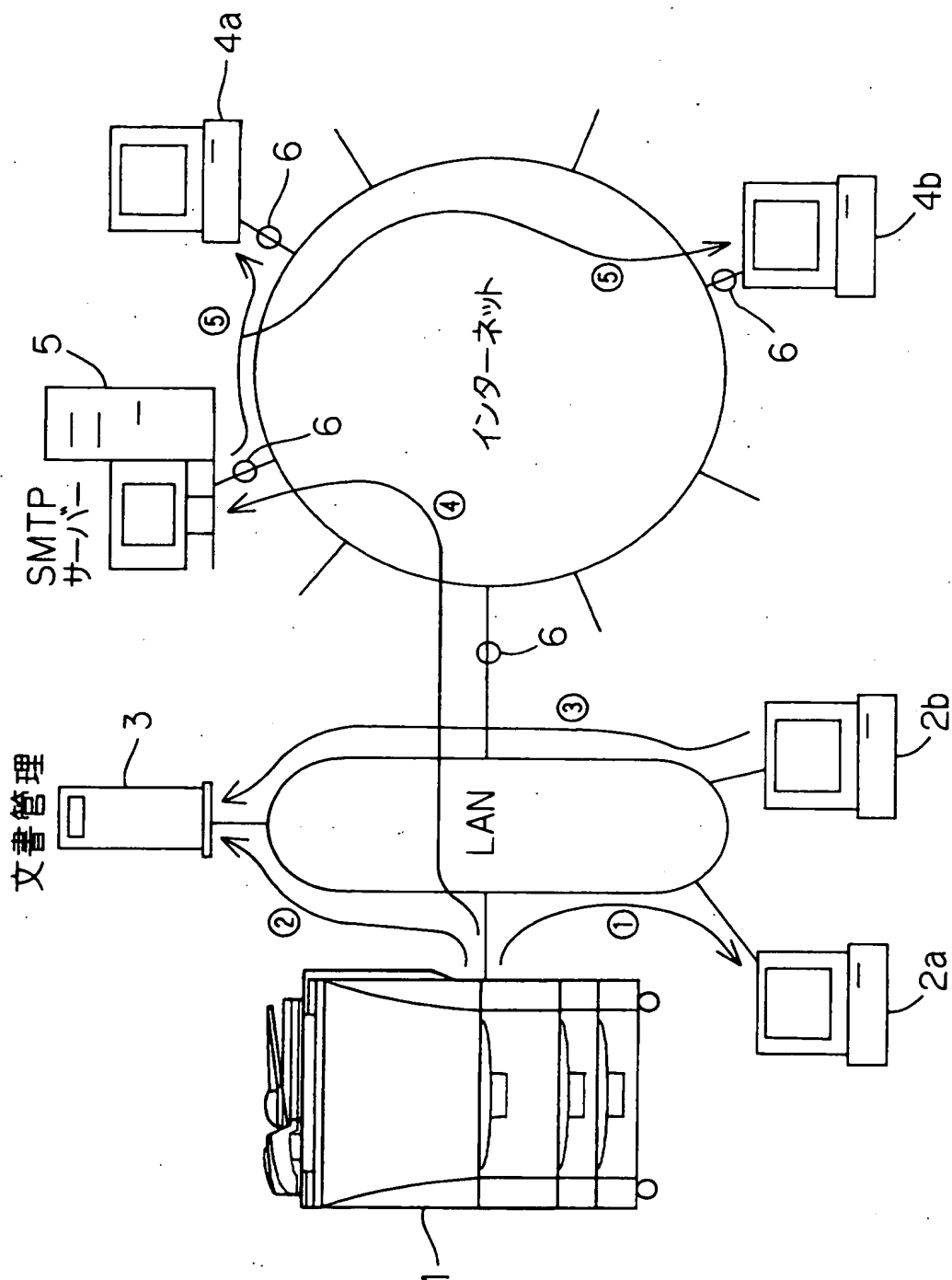
制御部の制御動作の一例を示すフローチャートである。

【符号の説明】

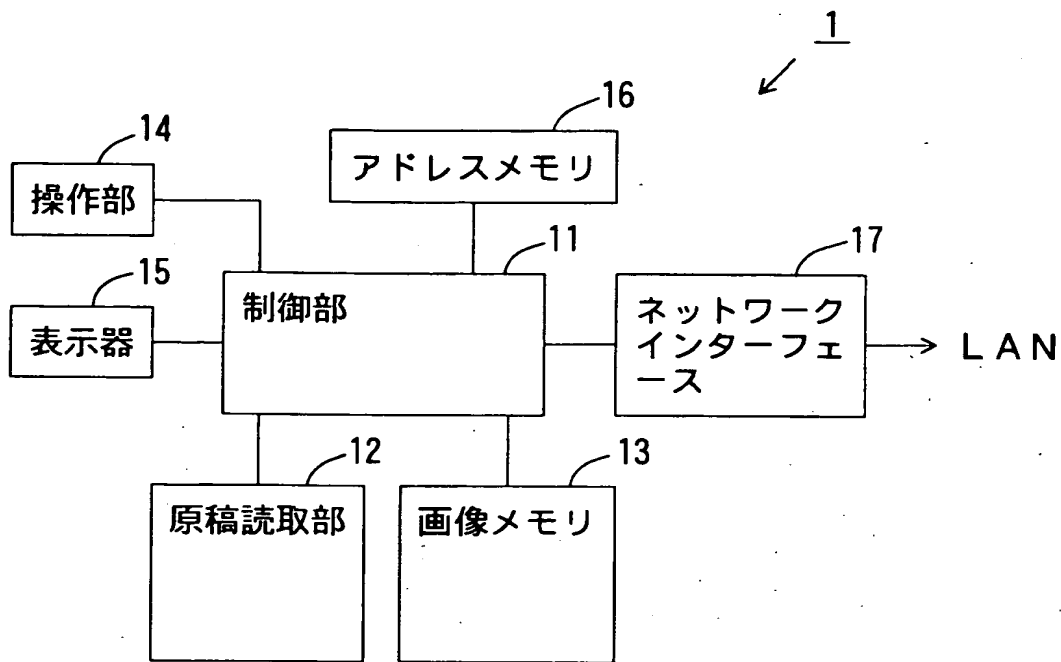
- 1 カラーディジタル複写機
- 2 a, 2 b オフィス内のパソコン
- 3 文書管理サーバー
- 4 a, 4 b 外部のパソコン
- 5 S M T P サーバー

【書類名】 図面

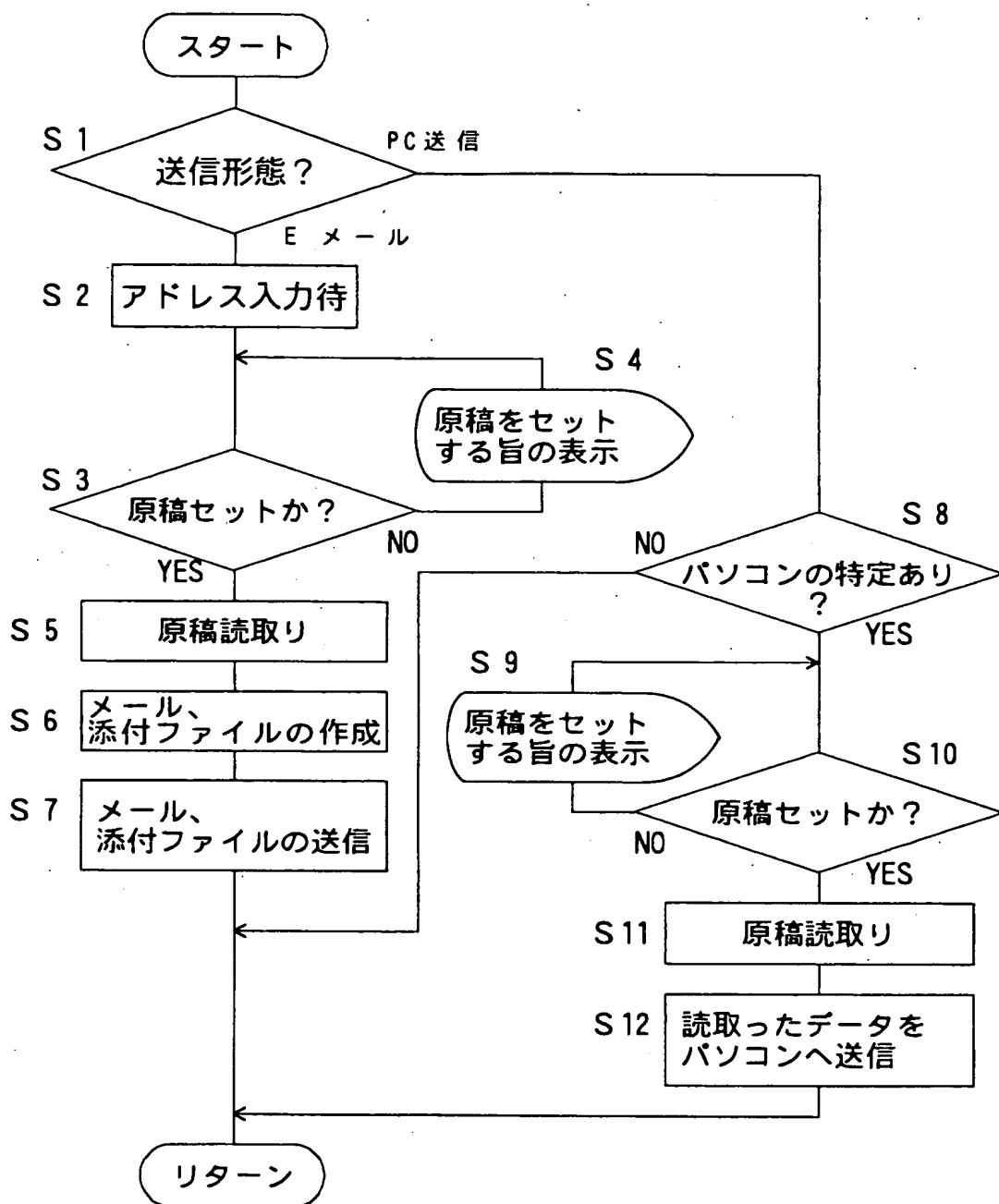
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ネットワークに接続されたスキャナ装置を使用する場合は、パソコンから動作指令を送らなければならない、その操作が煩雑であった。

【解決手段】 スキャナ装置の操作だけで、スキャナ装置が読取った原稿データを、ネットワークを介して所望のパソコンへ送信可能にした。そのため、スキャナ装置 1 に、送信先を特定するアドレス指定手段と、そのアドレスへ送信するメールを作成するメール作成手段と、読取られた原稿画像データをメールの添付ファイルとして作成する添付ファイル作成手段と、作成されたメールおよび添付ファイルを、ネットワークへ出力する送信実行手段とを設けた。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006150]

1. 変更年月日	2000年 1月31日
[変更理由]	名称変更
住 所	大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号
氏 名	京セラミタ株式会社